

令和2年12月17日（木） 場所 委員会室

○出席議員

議長	石井 伸之	日本共産党	高原 幸雄
副議長	望月 健一	公明党	小口 俊明
自由民主党	青木 健	新しい議会	藤江 竜三
社民・ネット・緑と風	藤田 貴裕		



○議会事務局職員

議会事務局長	内藤 哲也
議会事務局次長	波多野敏一



○協議事項

◎議長挨拶

議題1. 新年度予算（議会費）について

2. 予算特別委員会について

- (1) 特別委員会の設置について
- (2) 正副委員長を選出について
- (3) 特別委員会資料について

3. 政策形成サイクルについて

※ 東京都市議会議員研修会について

◎議長挨拶

○【石井伸之議長】 皆さん、おはようございます。国立市長選挙終了直後ということですね。それでは、座って進行させていただきます。選挙後、大変お疲れのところ、本日の会派代表者会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日はこの後に議員互助会もございますので、皆様の御協力の下、進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会派代表者会議を開きます。



議題1. 新年度予算（議会費）について

○【石井伸之議長】 議題1、新年度予算についてでございます。この件につきましては、前回の会派代表者会議で皆様に御説明、御確認を頂きました。空気清浄機につきましては、皆様から貴重な御意見を頂き、誠にありがとうございました。その他についても精査した部分がありますので、変更箇所の御確認を頂きたいと思います。

それでは、事務局より御説明をお願いいたします。議会事務局次長。

○【波多野議会事務局次長】 おはようございます。申し訳ありません、着座にて御説明させていただきます。議会費の令和3年度予算案につきまして、前回10月15日木曜日会派代表者会議からの変更点について御説明させていただきます。会派代表者会議資料No.9の3ページ目をお開きください。

まず、2の議会事務局会計年度任用職員報酬等につきましては、勤務体制の見直しを致しまして、年間の勤務日数を242日から210日に減らしたことによりまして、報酬及び期末手当で27万円の減となりました。

次に、議員報酬等に係る予算で、3の議会運営事業費につきましては、議員共済会給付費負担金の負担率が決定いたしました。その減によりまして、令和2年度に比べましてマイナス222万2,000円減の4,149万円となりました。

次の6の会議録作成事業費の増額と7の議会情報提供事業費の減額は、事業内容に合わせることに致しまして、事務事業の移行を行いました。それぞれ103万2,000円が増、そして減となっております。金額の増減はございません。

最後に、8の議会事務費でございますが、今、議長よりお話がありました、新型コロナウイルス対策用品の消耗品の購入経費としての空気清浄機の28万8,000円を減額し、また、健康診断委託料について競争入札が行われまして、その結果、6万円の減となりました。合計で34万8,000円の減となりました。

そこで、現時点での議会費合計では、3ページ下の枠1つ目、上のほうです。会派代表者会議資料No.8との比較で、マイナス284万円となりました。その下の囲みの前年度、令和2年度の当初予算との比較ではマイナス193万円、0.6%の減となりました。

なお、全体につきましては、1、2ページを後ほど御覧ください。以上が変更点の説明でございます。御確認を頂き、御協議のほどどうぞよろしくお願いいたします。また、今後の財政当局との微調整及び職員課による職員人件費等につきましては、例年どおり事務局での確認とさせていただきますことも御了承いただければと思います。

それでは、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

○【石井伸之議長】 議会事務局次長、ありがとうございました。

変更箇所については、いかがでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、そのように確認をさせていただきます。



議題２．予算特別委員会について

(１) 特別委員会の設置について

(２) 正副委員長の選出について

(３) 特別委員会資料について

○【石井伸之議長】 議題２に入ります。議題２、予算特別委員会について、(１)特別委員会の設置について、(２)正副委員長の選出について、(３)特別委員会資料について、議会事務局より御説明をお願いいたします。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 それでは、(１)、(２)、(３)を一括して御説明させていただきます。

まず、予算特別委員会の設置につきましては、当初予算の審査は、先例によりまして、議長を除く全議員構成で予算特別委員会を設置し付託するのが例となっております。先例に倣いまして、予算特別委員会の設置をしていただきますようお願い申し上げます。

また、予算特別委員会設置につきましては、議会運営委員会におきまして協議をしていただき、確認されましたら、２月24日水曜日の本会議初日においてお諮りすることとなります。

次に、正副委員長の選出でございますが、前例では、委員長には与党第一党から、副委員長には野党第一党から選出することとなっております。なお、それぞれ選出がない場合には、委員長は与党内から、副委員長は野党内から選出することとなっております。正副委員長の届出につきましては、一般質問通告の期日と同様の２月15日月曜日の正午までに事務局へ御連絡いただきたいと思います。

(３)特別委員会の資料についてでございます。資料要求は会派ごとにまとめていただきまして、１月８日金曜日の正午までに文書で事務局へ御提出をお願いいたします。要求がありました資料につきましては、資料内容を確認後、期日までに間に合うかどうか担当部と調整をした後、議長、副議長とも内容を精査させていただきます。３月３日水曜日までに各会派の議員控室へ配付を予定しております。本日、お手元に昨年資料要求一覧をお配りさせていただいておりますので、御参考にしていただきたいと思います。

なお、資料の提出に当たりましては、会派代表者会議でも御確認いただきましたとおり、各会派で十分精査をしていただきまして、必要な資料を御提出していただきますようお願い申し上げます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○【石井伸之議長】 説明が終わりました。議題２につきまして、一括して質疑、意見等を承ります。何かございますでしょうか。藤田議員。

○【藤田貴裕議員】 資料要求というんですか、その締切りです。例年に比べると随分早いような気がしますけれども、何か理由があるんですか。

○【内藤議会事務局長】 まず、日にちにつきましては、今年状況は、たしか１月10日であったというふうに認識しております。それほど変わりのない日にちに設定をさせていただいていると事務局のほうでは思っております。これは会派代表者会議でも御議論していただいて、資料の在り方というのと同時に、作成する期間をなるべく多く設けましょうという御協議を頂きましたので、少し前より

は早い時期には当然なっておりますけれども、会派代表者会議での御議論がありまして、今年の1月もそういった期日にしていただきましたので、ぜひ御協力、御理解を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

○【藤田貴裕議員】 そういうお話です。私たちの会派は、予算の説明というのが1月18日なものですから、それを見た上で資料の要求を考えていたんですけれども、そういう経過があるということです。1月8日ですよ、終わるの。

○【石井伸之議長】 1月8日が資料要求の期日になります。

○【藤田貴裕議員】 予算の説明を聞く前に出すというのはなかなか難しいなという意見が一応会派から出ましたので、それはお伝えしておきたいと思います。

それともう1個、資料要求の内容をPDFにして市議会のホームページに挙げていただいたら、紙では要らないという声も出ています。あるいは予算書もそういうふうにやっていただいたら紙の配付は結構ですという声がありますので、議会内で検討していただければ幸いです。

○【石井伸之議長】 分かりました。PDFにつきましては、今後いろいろICT化も含めて議論があると思いますので、今後どのような形でできるか、それは議運になるかな、受け止めさせていただきます。

○【藤江竜三議員】 予算特別委員会の資料ですけれども、毎回複数種類の、ただ、使用が見込まれる資料要求というのが各会派とも含めて出ているのかというふうに考えております。今回もコロナ禍ということなので、職員に大きな負担をかけるわけにはいかないのかなと思います。各会派協力して、使用が見込まれる資料要求が適当かなというふうに考えておりますので、それについては協力いたします。

○【小口俊明議員】 全く同感で、私どももこれまで、最近になって会派代表者会議でいろいろ皆さんと意見交換をした中で、まず、委員会の質疑を会派で想定して、その上でどのような資料が必要かという流れで要求する資料を決めていくというところを我々も既に実践を始めております。我が会派の状況をお伝えしたいと思います。ぜひそういう努力もしていきたいなというふうに考えます。

○【青木健議員】 私も今、藤江議員、小口議員のおっしゃったとおりだろうと思います。やはり我々の資料要求によって、それだけ職員は時間を割かれるということについては厳に考えなければいけない点なのではないか。これによって職員が残業をするようなことになっては本末転倒であろうと思いますし、本当に必要なもの、本当に委員会で使用するものについて精査をしていただいて要求していただくというふうにしていただければと私どもは思います。

○【高原幸雄議員】 今、お三方からそういう話がありましたけれども、私たちもこの間、そういう意味ではかなり精査をするなり努力してきた経過ももちろんあります。しかし、1年間の予算全体の中で審査する際の必要な資料というのはやっぱり出してもらう必要があるというふうに思いますので、その辺は十分に各会派において精査をする中で要求していくということをお願いしたいと思います。

○【藤田貴裕議員】 資料については精査もちゃんとしてきたなという気が致します。今、一覧表を見て38という、いつときは120件とかありましたので、随分議会のほうでも協力してもらっています。来年度予算を審査するに当たって、いろいろな立場で資料を見ながら行政に対して質疑しますので、引き続きそういう立場でやっていきたいと思います。

○【石井伸之議長】 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ありがとうございます。なければ、この点につきまして、各会派代表者の皆様から大変慎重な御議論、また様々な御意見を頂きまして、ありがとうございます。やはり基本的には予算特別委員会の中で使用する資料という形でぜひ精査をしていただき、ただ、予算の審査において必要な資料、これはしっかりと要求していただく、そういった形での予算特別委員会の資料要求を行っていただければと思います。

また、26市の資料や複数年の経年資料、分析を求める資料、公開されている資料につきましても、職員の事務負担に配慮して精査をしていくことをお願いいたします。各会派において十二分に精査をしていただき、提出をお願いいたします。期限につきましては、1月8日正午となっておりますので、各会派の皆様におかれましては期限前に提出を頂けますよう、どうぞ御協力をお願いいたします。



議題3. 政策形成サイクルについて

○【石井伸之議長】 続きまして、議題3、政策形成サイクルについて入ります。

政策形成サイクルにつきましては、4月13日付の資料ということで、国立市議会政策形成サイクルイントロダクション（案）ということでお配りをさせていただきました。この中で全会一致、もしくは全会派一致、全議員一致という形で、実を言うと、以前の資料では、この表記について3通りのパターンがありました。ただ、3通りのパターンとなってしまうと、表現につきましては、やはり1つに統一したほうがいいたろうと、そういった御意見を頂きまして、各会派の皆様、全会一致がよいのか、全会派一致がよいのか、それとも全議員一致がよいのか、この点についてお持ち帰りしていただき、そして各会派の皆様、御協議していただいているかと思います。そこで、各会派代表の皆様からお持ち帰りを頂いた、その結果について御報告を頂きたいと思います。藤田議員。

○【藤田貴裕議員】 意味は恐らくみんな一緒だと思うんですけども、より分かりやすくということで全議員一致がいいんじゃないかというふうになりました。

○【小口俊明議員】 皆さん、多分イメージはほぼ近いと思って、内容的にもそれほど差はないのかなという思いはあります。その上で、全会派一致、全議員一致という気持ちの中で、言葉として全会一致という言葉が一般的なので、世の中、普通全会一致という言い方をします。また、議会事なので、様々な会議の場面においては、全会一致ということにおいては1つの意味を持っていることがありますので、ここではやはり一般的な全会一致という用語を用いたほうが望ましいのではないかと、我が会派はそうように考えています。

○【高原幸雄議員】 全会派一致ということの、今いろいろ意見が出されておりますけど、政策サイクルを練り上げていくということですから、これは、会派によっては構成もいろいろなバリエーションがあるじゃないですか。だから、できればもっと分かりやすくという意味では、全議員一致というのが一番分かりやすいんじゃないかと思いますので。

○【青木健議員】 私どもも一般的に使われている全会一致、当議会でも結構使ってますので、全会一致でいいのではないかなというふうに思います。どれも意味は変わらないですね。ですから、一番それが広く世間でも使われる言葉ではないかなと思いますので、全会一致がいいのではないかとということでありました。

○【石井伸之議長】 藤江議員、いかがでしょうか。

○【藤江竜三議員】 私どもも全会一致がよいのではないかなというふうに考えています。一般的に使われる言葉を使用していく、また、違う言葉を使うのであれば、どう使っているかということを説明

しなくてはならないのかなというふうに考えますので、全会一致がいいのではないかなというふうに思います。

○【石井伸之議長】 御議論いただきまして、ありがとうございます。

今、ほかの会派の皆様からの御意見を頂く中で、重ねて何か御意見等いかがでしょうか。もしなかなかこの場へいきなりすぐには議論というところが結びつかないのであれば、まだ少し時間がありますので、再びお持ち帰りしていただいて、各会派の皆様からの様々な意見をお聞きした中で、もう一度御協議を頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

まずは皆さんの意見を伝えて、さらにほかの会派の意見を聞いたところを受けて、もう一度持ち帰っていただいて、そしてまた、来年明けてすぐに会派代表者会議を行いたいと考えておりますので、そこでまた御議論いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

○【藤田貴裕議員】 ちょっと何か異議がありそうな雰囲気なので、こう見ていますとね。もう一回ちょっと。

○【石井伸之議長】 それでは、もう一度、大変恐縮ですが、今、初めて各会派の御意見が出たところでございますので、一度お持ち帰りしていただいて、また再び各会派の中で御議論を頂き、そして再び次の会派代表者会議の中で御協議を頂く、そういった形でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、そういった形でよろしく願いいたします。



※ 東京都市議会議員研修会について

○【石井伸之議長】 続きまして、米印のほうの1つ目に入ります。最後になります。御報告となります。例年2月上旬に府中の森芸術劇場で実施しております26市の議員研修会、こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症対応ということで、今年は中止という連絡が参りましたので、各会派の皆様にお伝えを願います。この件は、御理解のほどよろしくお願いいたします。



○【石井伸之議長】 それでは、以上をもちまして、会派代表者会議を閉会とさせていただきます。皆様、御協力を頂き、ありがとうございました。お疲れさまでございました。

午前10時19分閉会